

ちがさきし ねん めざ
茅ヶ崎市は「2050年ゼロカーボンシティ」を目指しています

さとやま たい
里山はっけん隊！ 「まとめ ノート」



れいわ ねん がつ どうようび じっし
令和5年4月1日(土)実施

だい かい さとやま たい
第2回 里山はっけん隊！ ふりかえり

さんか たいいん みなさま じゅんふどう けいしょうりやく
参加いただいた隊員の皆様（順不同・敬称略）:

みっちゃん、パパゴリ、きい、きいぱぱ、カティ、ヨコノリ、
マスオ、たぬき、たぬきのかあさん、たぬきのとうさん、
やえ、ゆう、ともひろ、メタモン、ガッツ

目次 – CONTENTS –

まとめ
その1

生きものトーク…………… 1

はっけん隊！当日にみんなが投稿した写真を見ながら、柳谷の自然に学ぶ会の皆さんと、市役所環境政策課のカヤとみかんが、みなさんの「はっけん！」をトーク形式でふりかえります。

まとめ
その2

生きものコレクション…………… 8

隊員のみんなの投稿を一覧にまとめました。生きもの名前は、柳谷の自然に学ぶ会の皆さんに確認していただき、一部、変更させていただきました。人物が映り込んでいる投稿等は、削除しています。種名が判別できなかったものは、「種名？」と表示しています。

まとめ
その3

生きものマップ…………… 13

畑の村湿地とその周辺で見つけた主な生きものを、地図にまとめました。草地、湿地、斜面など、エリアごとにどんな生きものがいたか見てみましょう。

生きものトーク、生きものコレクション、生きものマップの作成に
御協力いただいた 柳谷の自然に学ぶ会の皆様(敬称略)

野田晴美(のださん)、飯尾桃子(いいおさん)、小浜ミサ子(みーさん)
倉川典夫(くらさん)、池田尚子



植物

カ 今回はよいお天気で、みどりが濃く感じました。田んぼの畦（あぜ）や草地の小さな花に注目が集まりました。



ナズナ

Capsella bursa-pastoris
種子植物 > アブラナ目 > アブラナ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

学 「春の七草」のナズナです。なでるほど可愛い「撫菜（ナデナ）」が語源という説があります。果実の形が三味線のバチに似ていることからペンペン草ともいわれます。
カ 果実のついてる柄のところを一つずつ下にひっぱって、莖をクルクル回すと音がして楽しいんですよ。



ヒメオドリコソウ

Lamium purpureum
種子植物 > シソ目 > シソ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

み よく見るとふしぎな形の花。たくさん見かけました。

学 ヨーロッパ原産の外来種です。在来のオドリコソウに似ていて、小さい花なのでヒメが付いたと考えられます。



セイヨウタンポポ

Taraxacum officinale
種子植物 > キク目 > キク科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

カ 前回は咲いていたタンポポもたくさん見られました。
学 総苞外片（そうほうがいへん）という花びらの下が反り返っているの、セイヨウタンポポですね。反り返りがなければ、在来のカントウタンポポです。写真はその部分を撮られるとよいですよ。



ヤハズエンドウ

Vicia sativa subsp. nigra
種子植物 > マメ目 > マメ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

学 いわゆるカラスノエンドウです。サヤエンドウにみえるものが種です。これが真っ黒になるので、カラスに見立てたようです。



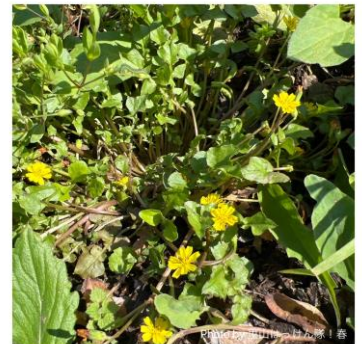
トウダイグサ

Euphorbia helioscopia
種子植物 > キントラノオ目 > トウダイグサ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

み トウダイって、船が目印にするあれですか？

学 ではなくて、燈台といって、油を入れたお皿に火を灯す昔の照明器具です。お皿みたいな葉の上に黄色い小さな花が見えますね。



コオニタビラコ

Lapsanastrum apogonoides
種子植物 > キク目 > キク科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

み 田んぼの畦で、小さな黄色い花が咲いていました。

学 コオニタビラコですね。タビラコは「田平子」と書き、水田に平たく葉が広がる様子を表現しています。この「コオニタビラコ」は、昔は「ホトケノザ」と呼ばれていて、春の七草の「ホトケノザ」は、実はこの「コオニタビラコ」のことを指すんですよ。若い芽は食べられます。

み 春の七草セットに入っているのは前回見つけた「ホトケノザ」とは違うんですね。



ホトケノザ
Lamium amplexicaule
種子植物 > シソ目 > シソ科



オオアラセイトウ
Orychophragmus violaceus
種子植物 > アブラナ目 > アブラナ科

み 斜面の下できれいな紫色の花が咲いていました。

学 オオアラセイトウですね。別名「ショカツサイ」「ハナダイコン」と言います。中国原産で江戸時代に観賞用として渡来。諸葛孔明が戦さの時に食べたという話があります。



タガラシ
Ranunculus sceleratus
種子植物 > キンボウゲ目 > キンボウゲ科

み 水辺で見つけた黄色い花。真ん中のぷっくりしたところがかわいいです。

学 キツネノボタンと似ていますが、葉っぱの先のとがりが少ないのでタガラシと思います。花が終わって、種ができますが、タガラシは俵型、キツネノボタンは金平糖の形となります。

み よく似ていても、違う特徴があるんですね。



タチイヌノフグリ
Veronica arvensis
種子植物 > シソ目 > オオバコ科

み この花もよく見ました。

学 青い花はタチイヌノフグリに見えます。オオイヌノフグリと同じく外国が原産の帰化植物です。オオイヌノフグリとの違いは花の付き方ですね。比べてみてください。

み てっきりオオイヌノフグリだと思いました。



オランダミミナグサ
Cerastium glomeratum
種子植物 > ナデシコ目 > ナデシコ科

み なんだか全体的にもふもふした植物ですね。

学 明治末期に牧野富太郎が発見。ヨーロッパ原産の帰化植物です。日当たりのよいところならどこにでもあります。在来のミミナグサはオランダミミナグサに比べて、毛っぽくない。探してみてください。**カ** 牧野富太郎…朝ドラでいま話題の植物学者ですね。



カラシナ
Brassica juncea
種子植物 > アブラナ目 > アブラナ科

み 菜の花が見ごろでしたね。

学 いわゆる「菜の花」のようですが、カラシナと似ています。違いはアブラナは茎を抱いてる葉っぱに対してカラシナは茎を抱いていません。食べてみて辛ければカラシナですね。どちらも帰化植物です。

み 食べれば分かる、と！



カナムグラ
Humulus scandens
種子植物 > バラ目 > アサ科

カ 今回の保全作業体験で抜いたカナムグラですね。斜面にたくさん生えていました。



スギナ
Equisetum arvense
その他植物 > トクサ目 > トクサ科

学 いわゆるツクシ。スギナの胞子茎（ほうしけい）。シダの仲間になります。

み 春って感じがしますね。

昆虫・クモ・その他節足動物



ツチイナゴ
Patanga japonica
昆虫・クモ > バッタ目 > バッタ科

カ 前回に引き続き、ツチイナゴが多数はっけん！されました。

学 ツチイナゴは成虫越冬のバッタです。



ハラヒシバッタ
Tetrix japonica
昆虫・クモ > バッタ目 > ヒシバッタ科



ヒシバッタ科
Tetrigidae
昆虫・クモ > バッタ目

み ヒシバッタの仲間も見つかりました。



クビキリギス
Euconocephalus varius
昆虫・クモ > バッタ目 > キリギリス科

学 クビキリギスは成虫越冬のキリギリスです。



ヒメギス
Eobiana engelhardti subsp. *subtropica*
昆虫・クモ > バッタ目 > キリギリス科



ヤブキリ
Tettigonia orientalis
昆虫・クモ > バッタ目 > キリギリス科

学 ヒメギス、ヤブキリもキリギリスの仲間です。



ナナホシテントウ
Coccinella septempunctata
昆虫・クモ > コウチュウ目 > テントウムシ科

み 今回もテントウムシをたくさんはっけん！できました。前回に引き続き、幼虫も見つかっています。



幼虫

ナナホシテントウ

Coccinella septempunctata
昆虫・クモ>コウチュウ目>テントウムシ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」



幼虫

コガタルリハムシ

Gastrophysa atrocyanea
昆虫・クモ>コウチュウ目>ハムシ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

学 コガタルリハムシの幼虫です。ギシギシの葉を食べています。

み そういえば草地にはギシギシがたくさん生えていました。食べ放題ですね。



イタドリハムシ

Gallerucida bifasciata
昆虫・クモ>コウチュウ目>ハムシ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

学 イタドリハムシ。これもハムシの仲間です。

み きれいな模様ですね。すごくおしゃれ！



種名？

学名？
分類？

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

み これもすごくきれい！
学 ヨモギハムシの青黒型かもしれませんが、ルリ色のハムシは多く、この写真だけでは分かりません。止まっていた植物が分かる程度絞れるので、写真を撮るときに気を付けるといいですよ。

み どんな場所において、何を食べていたのかが、大事なヒントになるんですね。



幼虫

ミノウスバ

Pryeria sinica
昆虫・クモ>チョウ目>マダラガ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

み ひゃー、マユミの木に幼虫がびっしり！ これにはみんなびっくりでしたね。

学 ミノウスバの幼虫です。卵で越冬して、春に孵化します。幼虫はニシキギ科の葉っぱを食べます。マユミもニシキギ科ですね。

み ここもまた食べ放題！すごい食欲ですね。



ベニシジミ

Lycaena phlaeas subsp. daimio
昆虫・クモ>チョウ目>シジミチョウ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」



ウラギンシジミ

Curetis acuta
昆虫・クモ>チョウ目>シジミチョウ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」



キタテハ

Polygona c-aureum
昆虫・クモ>チョウ目>タテハチョウ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

学 ベニシジミは幼虫で、ウラギンシジミとキタテハは成虫で越冬するチョウです。

み シジミというのはアサリ・シジミのシジミですか？

カ シジミ貝みたいに小さいということみたいですよ。

み モンシロチョウがたくさん飛んでいましたが、写真に撮るのは難しかったです。



ホソミイトトンボ
Aciagrion migratum
昆虫・クモ>トンボ目>イトトンボ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

カ 湿地ではトンボが飛んでいて、みんなが注目していました。

学 ホソミイトトンボです。成虫で越冬します。よく見ると水色の胸に黒いラインが入っているのが分かります。

み クモの仲間もたくさんいましたね。



マミジロハエトリ
Evarcha albaria
昆虫・クモ>クモ目>ハエトリグモ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」



ハサミムシ科
Anisolabididae
昆虫・クモ>ハサミムシ目

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」



オスクロハエトリ
Mendoza canestrinii
昆虫・クモ>クモ目>ハエトリグモ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」



ベニカミキリ
Purpuricenus temminckii
昆虫・クモ>コウチュウ目>カミキリムシ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」



エビチャコモリグモ
Arctosa ebicha
昆虫・クモ>クモ目>コモリグモ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」



ワカバグモ
Oxytate striatipes
昆虫・クモ>クモ目>カニグモ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」



ワラジムシ
Porcellio scaber
甲殻類>等脚目>ワラジムシ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」



ヒノマルコモリグモ
Arctosa ipsa
昆虫・クモ>クモ目>コモリグモ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

カ 今回は、前回クヌギとムクノキに巻いた「こも」を外して観察しました。こもから出てきたのは、クモが多かったように思います。こもからは、たくさんのアリや、ゲジゲジしたものが出てきてびっくりしましたね。



アオズムカデ
Scolopendra subspinipes subsp. japonica
その他動物>オオムカデ目>オオムカデ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

両生類

カ 草地ではニホンアマガエルがたくさん見つかりました。



ニホンアマガエル

Dryophytes japonicus

両生類 > 無尾目 > アマガエル科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

学 柳谷には 5 種類のカエルがいて、ウシガエル以外は在来種です。

カ 今回は、柳谷の自然に学ぶ会の皆さんが事前に見つけたウシガエルをみんなで観察しましたね。



ウシガエル

Lithobates catesbeianus

両生類 > 無尾目 > アカガエル科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

み 大きくて、なんか迫力がありましたね。

学 カエルの世界ですごいと思うことは狭い水辺の世界の中で飽和状態にならないよう、時期をずらして産卵することです。例えば北方系のニホンアカガエルはなんと 1 月末から 2 月というもっとも寒い時

に産卵を始めます、次にやはり北方系のアズマヒキガエルが 3 月頃産卵し、それから南方系のシュレーゲルアオガエルが 4 月頃、最後にニホンアマガエルが 5 月頃から稲の根などに卵を産み付け始めます。



ニホンアマガエル

Dryophytes japonicus

両生類 > 無尾目 > アマガエル科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

み ニホンアマガエルが卵を産むのはこれからなんですね。

学 外来種のウシガエルはオタマジャクシの期間が 1~2 年で、サイズも 10 cm と大きく、口に入る大きさの動くものなら何でも食べます。そのため生態系に大きな被害を与えるので外来生物法で移動が禁止されているのです。

み 今回見つけたオタマジャクシはアズマヒキガエルでしたね。



アズマヒキガエル

Bufo japonicus subsp. formosus

両生類 > 無尾目 > ヒキガエル科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

学 両生類という生きものの面白さは、一つの命で地球上の生きものの進化の過程を通過することです。カエルは水の中で卵として生まれ、オタマジャクシのときは魚のようなえら呼吸ですが、陸に上がると肺呼吸に変わります。

み 考えてみれば、ものすごい変身っぷりですね。



ニホンカナヘビ

Takydromus tachydromoides

は虫類 > 有鱗目 > カナヘビ科

Powered by いきものコレクションアプリ「iBio」

学 カナヘビは子どもたち、特に男の子には絶大な人気があります。卵も恐竜の卵を小さくしたような格好です。

なんととっても個性的なのは身を守るため、自分から尻尾を切って逃げることです。地中で越冬。10 年くらい生きます。昆虫、クモ、ワラジムシ等を食べます。

み そういわれてみると恐竜に見えてきました。

水生生物

カ 水辺の観察は楽しいですね。一見、何もいなそうな泥の中に、小さい生きものを見つけるとわくわくします。カワニナとサワガニは前回もいましたね。



カワナ
Semisulcospira libertina
軟体動物 > 吸殻目 > カワナ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 カワナは柳谷ではよく見られます。ゲンジボタルの幼虫が餌にすることで知られていますが、小さいのはヘイケボタルも餌とします。藻や水の中の落ち葉、生きものの死骸などを食べます。先端が欠けているのが特徴です。

み ほんとだ！ 電子版で見る人は 400%くらいに拡大してみてください！



サワガニ
Geothelphusa dehaani
甲殻類 > 十脚目 > サワガニ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 サワガニは日本の固有種で、その名の通り、きれいな水に住む生きものです。柳谷では斜面林が蓄えた水が絞り水として湧き出る尾根の下あたりでよく見られます。

み サワガニがいるということは、畑の村の湿地の水がきれいということなんですね。なんだか嬉しいです。



カワゲラ科
Perlididae
昆虫・クモ > カワゲラ目

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 カワゲラもきれいな水に住む生きものです。幼虫は小さくてひ弱な感じですが、成虫になると、羽で飛びます。

み 尻尾が2本あるところがポイントですね。

学 カワゲラは、胸の部分がはっきりくびれているのも特徴で、水生生物のなかでは分かりやすいかもしれません。



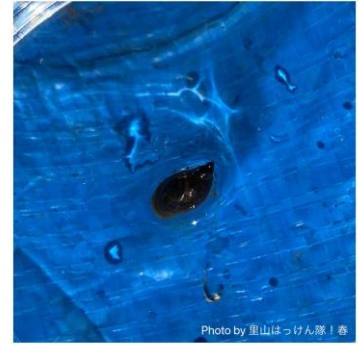
ミズムシ
Hesperocorixa distanti subsp. distanti
昆虫・クモ > カメムシ目 > ミズムシ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

み ミズムシってなんか名前がビミョーですね。

学 水生のワラジムシの一種ですが、いかにも名前が悪い（笑）。藻や水中の枯葉を食べ、他の水生昆虫の餌となっています。汚染水に強いとされていますが、柳谷では田んぼ、U字溝などでよく見ます。

み 確かにワラジムシにそっくりです。



サカマキガイ
Physa acuta
軟体動物 > Hygrophila > サカマキガイ科

Powered by いきものコレクションアプリ「バイオーム」

学 サカマキガイは、柳谷ではヒメモノアラガイとともによく見られます。どちらもヘイケボタルの餌として知られていて、ゼリー状の卵を産みます。とても形が似ていますが穴の開いているほうを下にして穴が左にあったらサカマキガイ、穴が右にあったらヒメモノアラガイです。

み えっ、そんな違いがあるんですか？ 今度は両方見つけて、比べてみたいです。

カ 水の中にも、いろんな生きものがあるんですね。次回はどんな生きものに会えるか楽しみです。

まとめ
その2

生きものコレクション



マークの写真は、
隊員が選んだ
「みんなに教えたい1枚」ぞよ！



植物



ナスナ
Capsella bursa-pastoris
種子植物 > アブラナ目 > アブラナ科



ナスナ
Capsella bursa-pastoris
種子植物 > アブラナ目 > アブラナ科



ヒメオドリコソウ
Lamium purpureum
種子植物 > シソ目 > シソ科



ヒメオドリコソウ
Lamium purpureum
種子植物 > シソ目 > シソ科



ヒメオドリコソウ
Lamium purpureum
種子植物 > シソ目 > シソ科



ヒメオドリコソウ
Lamium purpureum
種子植物 > シソ目 > シソ科



ヒメオドリコソウ
Lamium purpureum
種子植物 > シソ目 > シソ科



セイヨウタンポポ
Taraxacum officinale
種子植物 > キク目 > キク科



セイヨウタンポポ
Taraxacum officinale
種子植物 > キク目 > キク科



ヤハズエンドウ
Vicia sativa subsp. nigra
種子植物 > マメ目 > マメ科



ヤハズエンドウ
Vicia sativa subsp. nigra
種子植物 > マメ目 > マメ科



ヤハズエンドウ
Vicia sativa subsp. nigra
種子植物 > マメ目 > マメ科



ヤハズエンドウ
Vicia sativa subsp. nigra
種子植物 > マメ目 > マメ科



トウダイグサ
Euphorbia helioscopia
種子植物 > キントラン目 > トウダイグサ科



コオニタビラコ
Lapsanthisrum apogonoides
種子植物 > キク目 > キク科



オオアラセイトウ
Orychophragmus violaceus
種子植物 > アブラナ目 > アブラナ科



オオアラセイトウ
Orychophragmus violaceus
種子植物 > アブラナ目 > アブラナ科



タガラシ
Ranunculus sceleratus
種子植物 > キンボウグ目 > キンボウグ科



タガラシ
Ranunculus sceleratus
種子植物 > キンボウグ目 > キンボウグ科



タチイヌノフグリ
Veronica arvensis
種子植物 > シソ目 > オオバコ科



オランダミミナグサ
Cerastium glomeratum
種子植物 > ナデシコ目 > ナデシコ科


























カラシナ
Brassica juncea
種子植物 > アブラナ目 > アブラナ科




























カナムグラ
Humulus scandens
種子植物 > バラ目 > アサ科



スギナ
Equisetum arvense
その他植物 > トクサ目 > トクサ科

	<h2 style="text-align: center;">昆虫・クモ その他 節足動物</h2>			
<p>スギナ <i>Equisetum arvense</i> その他植物 > トウサ目 > トウサ科</p>		<p>ツチイナゴ <i>Patanga japonica</i> 昆虫・クモ > バッタ目 > バッタ科</p>	<p>ツチイナゴ <i>Patanga japonica</i> 昆虫・クモ > バッタ目 > バッタ科</p>	<p>ツチイナゴ <i>Patanga japonica</i> 昆虫・クモ > バッタ目 > バッタ科</p>
				
<p>ツチイナゴ <i>Patanga japonica</i> 昆虫・クモ > バッタ目 > バッタ科</p>	<p>ハラヒシバツタ <i>Tetrix japonica</i> 昆虫・クモ > バッタ目 > ヒシバツタ科</p>	<p>ヒシバツタ科 <i>Tetrigidae</i> 昆虫・クモ > バッタ目</p>	<p>ヒシバツタ科 <i>Tetrigidae</i> 昆虫・クモ > バッタ目</p>	<p>クビキリギス <i>Euconocephalus varius</i> 昆虫・クモ > バッタ目 > キリギリス科</p>
				
<p>クビキリギス <i>Euconocephalus varius</i> 昆虫・クモ > バッタ目 > キリギリス科</p>	<p>ヒメギス <i>Eobiana engelhardtii</i> subsp. <i>subtropica</i> 昆虫・クモ > バッタ目 > キリギリス科</p>	<p>ヤブキリ <i>Tettigonia orientalis</i> 昆虫・クモ > バッタ目 > キリギリス科</p>	<p>ヤブキリ <i>Tettigonia orientalis</i> 昆虫・クモ > バッタ目 > キリギリス科</p>	<p>ナナホシtentウ <i>Coccinella septempunctata</i> 昆虫・クモ > コウチュウ目 > テントウムシ科</p>
				
<p>ナナホシtentウ <i>Coccinella septempunctata</i> 昆虫・クモ > コウチュウ目 > テントウムシ科</p>	<p>ナナホシtentウ <i>Coccinella septempunctata</i> 昆虫・クモ > コウチュウ目 > テントウムシ科</p>	<p>ナナホシtentウ <i>Coccinella septempunctata</i> 昆虫・クモ > コウチュウ目 > テントウムシ科</p>	<p>ナナホシtentウ <i>Coccinella septempunctata</i> 昆虫・クモ > コウチュウ目 > テントウムシ科</p>	<p>ナナホシtentウ <i>Coccinella septempunctata</i> 昆虫・クモ > コウチュウ目 > テントウムシ科</p>
				
<p>ナナホシtentウ <i>Coccinella septempunctata</i> 昆虫・クモ > コウチュウ目 > テントウムシ科</p>	<p>コガタリハムシ <i>Gastrophysa atrocyanea</i> 昆虫・クモ > コウチュウ目 > ハムシ科</p>	<p>コガタリハムシ <i>Gastrophysa atrocyanea</i> 昆虫・クモ > コウチュウ目 > ハムシ科</p>	<p>イタドリハムシ <i>Galerucida luteocincta</i> 昆虫・クモ > コウチュウ目 > ハムシ科</p>	<p>種名？ 学名？ 分類？</p>

 <p>幼虫</p> <p>ミノウスバ <i>Pterylis sinica</i> 昆虫・クモ>チョウ目>マダラガ科</p>	 <p>幼虫</p> <p>ミノウスバ <i>Pterylis sinica</i> 昆虫・クモ>チョウ目>マダラガ科</p>	 <p>幼虫</p> <p>ミノウスバ <i>Pterylis sinica</i> 昆虫・クモ>チョウ目>マダラガ科</p>	 <p>幼虫</p> <p>ミノウスバ <i>Pterylis sinica</i> 昆虫・クモ>チョウ目>マダラガ科</p>	 <p>ペニシジミ <i>Lycena phlaeas subsp. dalmio</i> 昆虫・クモ>チョウ目>シジミチョウ科</p>
 <p>ペニシジミ <i>Lycena phlaeas subsp. dalmio</i> 昆虫・クモ>チョウ目>シジミチョウ科</p>	 <p>ウラギンシジミ <i>Curetta acuta</i> 昆虫・クモ>チョウ目>シジミチョウ科</p>	 <p>キタテハ <i>Polygonia c-aureum</i> 昆虫・クモ>チョウ目>タテハチョウ科</p>	 <p>モンシロチョウ <i>Pieris rapae</i> 昆虫・クモ>チョウ目>シロチョウ科</p>	 <p>ホソミイトンボ <i>Aciagrion migratum</i> 昆虫・クモ>トンボ目>イトンボ科</p>
 <p>ホソミイトンボ <i>Aciagrion migratum</i> 昆虫・クモ>トンボ目>イトンボ科</p>	 <p>ホソミイトンボ <i>Aciagrion migratum</i> 昆虫・クモ>トンボ目>イトンボ科</p>	 <p>ホソミイトンボ <i>Aciagrion migratum</i> 昆虫・クモ>トンボ目>イトンボ科</p>	 <p>ホソミイトンボ <i>Aciagrion migratum</i> 昆虫・クモ>トンボ目>イトンボ科</p>	 <p>ホソミイトンボ <i>Aciagrion migratum</i> 昆虫・クモ>トンボ目>イトンボ科</p>
 <p>ホソミイトンボ <i>Aciagrion migratum</i> 昆虫・クモ>トンボ目>イトンボ科</p>	 <p>ホソミイトンボ <i>Aciagrion migratum</i> 昆虫・クモ>トンボ目>イトンボ科</p>	 <p>ホソミイトンボ <i>Aciagrion migratum</i> 昆虫・クモ>トンボ目>イトンボ科</p>	 <p>アシブトハナアブ <i>Helophilus eristaloideus</i> 昆虫・クモ>ハエ目>ハナアブ科</p>	 <p>ハサミムシ科 <i>Anisolabididae</i> 昆虫・クモ>ハサミムシ目</p>
 <p>ベニカミキリ <i>Purpuritanus himmickii</i> 昆虫・クモ>コウチュウ目>カミキリムシ科</p>	 <p>種名? 学名? 分類?</p>	 <p>種名? 学名? 分類?</p>	 <p>種名? 学名? 分類?</p>	 <p>エビチャコモリグモ <i>Arctosa ebicha</i> 昆虫・クモ>クモ目>コモリグモ科</p>



エビチャコモリグモ
Arctosa ebicha
 昆虫・クモ>クモ目>コモリグモ科



ヒノマルコモリグモ
Arctosa ipsa
 昆虫・クモ>クモ目>コモリグモ科



マミジロハエトリ
Evarcha albanis
 昆虫・クモ>クモ目>ハエトリグモ科



オスクロハエトリ
Mendocia canestrinii
 昆虫・クモ>クモ目>ハエトリグモ科



ワカバグモ
Oxytate stratipes
 昆虫・クモ>クモ目>カニグモ科



種名？
 学名？
 分類？



種名？
 学名？
 分類？



種名？
 学名？
 分類？



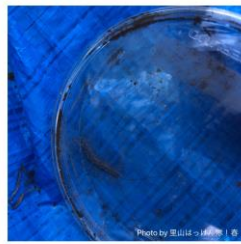
種名？
 学名？
 分類？



ワラジムシ
Porcellio scaber
 甲殻類>等脚目>ワラジムシ科



アオズムカデ
Scolopendra subspinipes subsp. japonica
 その他動物>オウムカデ目>オウムカデ科



ゲジ
Thereseuonema tuberculata
 その他動物>ゲジ目>ゲジ科



トラフババヤステ
Parafontaria ishii
 その他動物>オビヤステ目>ババヤステ科



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
 両生類>無尾目>アマガエル科



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
 両生類>無尾目>アマガエル科



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
 両生類>無尾目>アマガエル科



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
 両生類>無尾目>アマガエル科



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
 両生類>無尾目>アマガエル科



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
 両生類>無尾目>アマガエル科



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
 両生類>無尾目>アマガエル科



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
 両生類>無尾目>アマガエル科



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
 両生類>無尾目>アマガエル科



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
 両生類>無尾目>アマガエル科



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
 両生類>無尾目>アマガエル科



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
両生類 > 無尾目 > アマガエル科



ニホンアマガエル
Dryophytes japonicus
両生類 > 無尾目 > アマガエル科



アズマヒキガエル
Bufo japonicus subsp. formosus
両生類 > 無尾目 > ヒキガエル科



アズマヒキガエル
Bufo japonicus subsp. formosus
両生類 > 無尾目 > ヒキガエル科



アズマヒキガエル
Bufo japonicus subsp. formosus
両生類 > 無尾目 > ヒキガエル科



アズマヒキガエル
Bufo japonicus subsp. formosus
両生類 > 無尾目 > ヒキガエル科



アズマヒキガエル
Bufo japonicus subsp. formosus
両生類 > 無尾目 > ヒキガエル科



ウシガエル
Lithobates catesbeianus
両生類 > 無尾目 > アカガエル科



ウシガエル
Lithobates catesbeianus
両生類 > 無尾目 > アカガエル科



ウシガエル
Lithobates catesbeianus
両生類 > 無尾目 > アカガエル科



ニホンカナヘビ
Takydromus tachydromoides
は虫類 > 有鱗目 > カナヘビ科



ニホンカナヘビ
Takydromus tachydromoides
は虫類 > 有鱗目 > カナヘビ科

水生生物



ミズムシ
Hesperocorixa distanti subsp. distanti
昆虫 > クモ > カメシ目 > ミズムシ科



ミズムシ
Asellus hilgendorffii
甲殻類 > 等脚目 > ミズムシ科



カワゲラ科
Perilidae
昆虫 > クモ > カワゲラ目



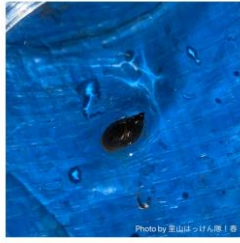
カワゲラ科
Perilidae
昆虫 > クモ > カワゲラ目



サワガニ
Geothelphusa dehaani
甲殻類 > 十脚目 > サワガニ科

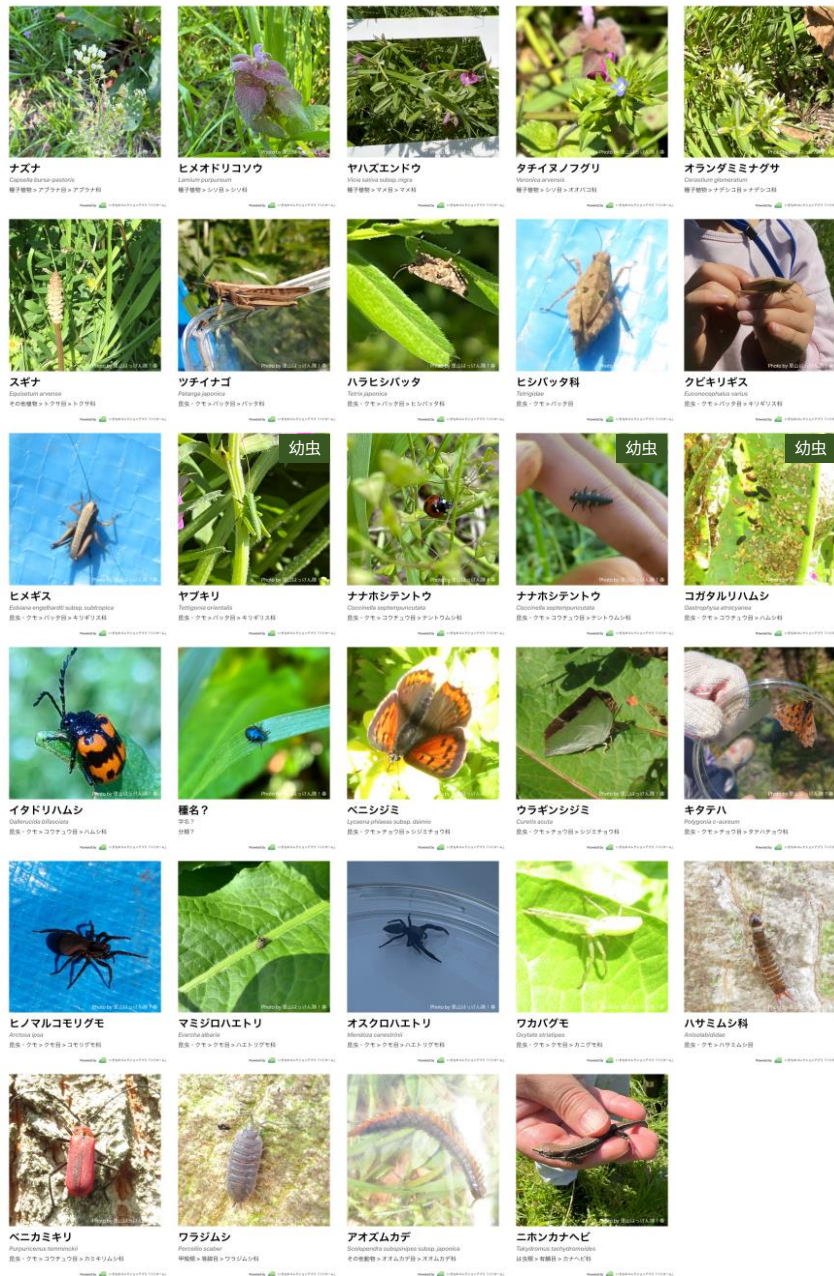


カワニナ
Semisulcospira libertina
軟体動物 > 吸殻目 > カワニナ科



サカマキガイ
Physa acuta
軟体動物 > Hygrophila > サカマキガイ科

草地



まとめ
その3

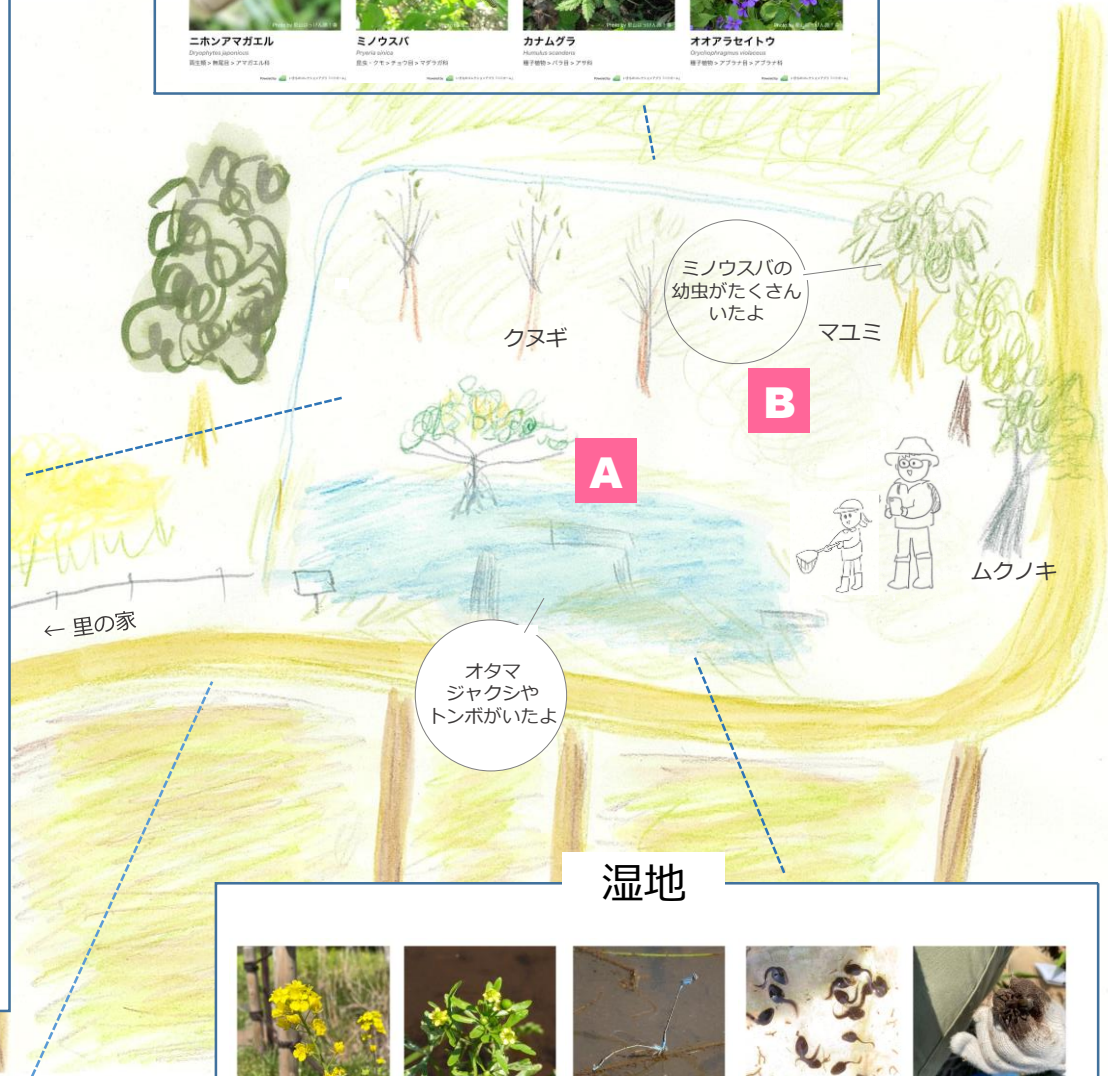
生きものマップ

里山はっけん隊！の主な活動場所である「畑の村湿地」とその周辺で見つけた主な生きものです。保全活動体験では、外来種等の抜き取りを行いました。（令和5年4月1日）



斜面

畑の村湿地と
その周辺



保全活動
体験

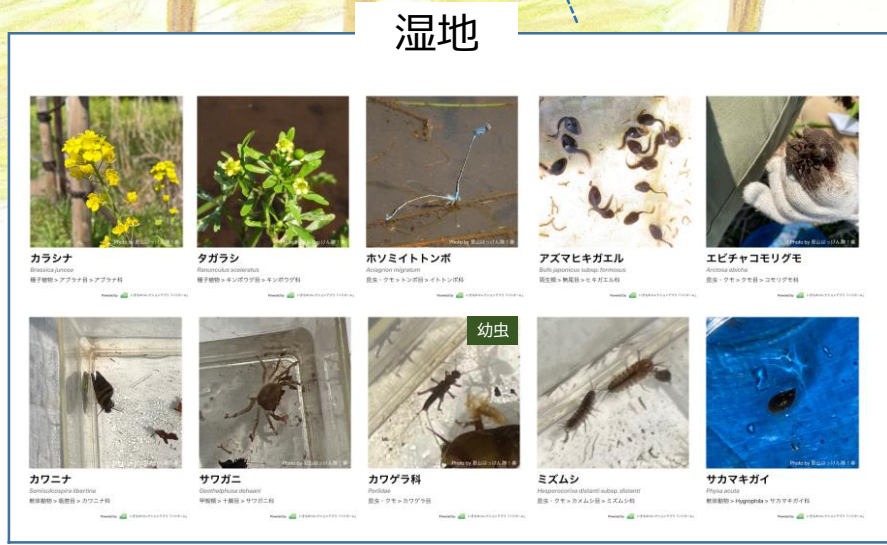
A セイタカアワダチソウの抜き取り



B カナムグラの抜き取り



園路沿い・田んぼ



里山はっけん隊！「まとめノート」令和4年度 春
編集：茅ヶ崎市環境部環境政策課
協力：柳谷の自然に学ぶ会
令和5年5月作成